

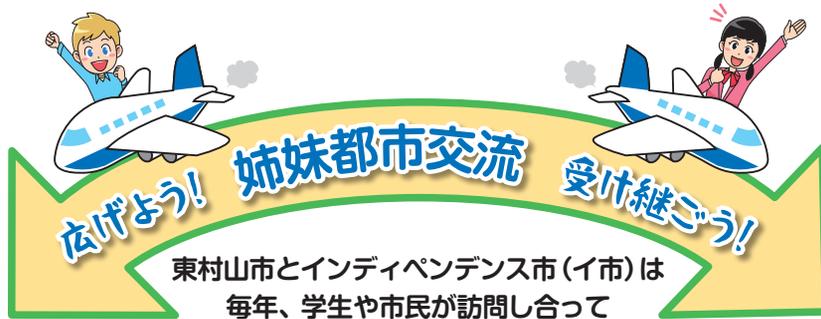
Higashimurayama City International Friendship Association

東村山市国際友好協会 第120号



東村山市

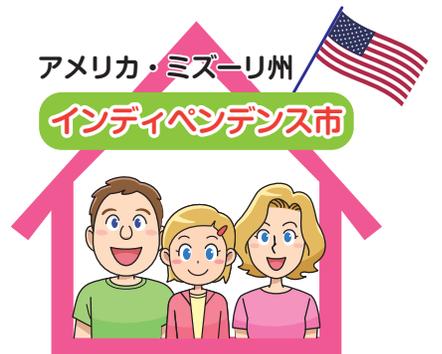
市民のホストファミリー宅に
ホームステイ



姉妹都市交流 受け継ごう!

東村山市とインディペンデンス市(イ市)は
毎年、学生や市民が訪問し合っ
て姉妹都市交流を続けています。

41周年の今年は、双方の学生が親善訪問しました。
来年も学生の交流の年です。



アメリカ・ミズーリ州

インディペンデンス市

市民のホストファミリー宅に
ホームステイ

学生のホストファミリーになりませんか

- ・ 来年6月にイ市から学生10名(引率者1名)が当市を訪問します。2週間お宅に泊めて一緒に過ごしませんか。
- ・ 友情が深まり、生の英会話の交流ができます。
- ・ 募集期間(予定)
令和2年1月20日(月)～2月28日(金)
- ・ 詳しいことは市報または当協会HPで。



姉妹都市のイ市にホームステイしませんか

- ・ 来年8月の2週間、学生(10名)の派遣団としてホームステイしませんか。(引率者1名)
- ・ 安心してアメリカの家庭生活が体験できます。
- ・ 事前に説明会や研修会があります。
- ・ 詳しいことは市報または当協会HPで。



モルモン教のテンプル



グレンデル小学校のかわいい子どもたち



イ市にある「東村山通り」



トルーマン博物館

イ市は
こんなところ

ち家族に愛着を持ってもらえた事が嬉しかったです。
デステイニーが帰国した日、部屋には可愛らしい絵と手紙が置いてありました。一緒に見たスカイツリー、一緒に食べたお寿司、一緒にしたキャッチボールの絵がとても丁寧に描かれていました。
彼女の記憶にも鮮明に残ったのだと分かりました。「自分達の中に大切な人が一人増えること」「二人のアメリカ人の人生の大きな出来事に自分達が関わること」それこそがホストファミリーのやりがいだと感じます。
また、いつかやりたいです。そしていつかインディペンデンスに彼女に会いに行きたいです。



水上バスで(お台場)

泣くほど日本と私と
涙を
見
て、こ
んなに
沢山の
ニーの
二ーの
事、最終日別れ際のデステイ

今年我が家に来たデステイニーは17歳の大人しい女の子でした。子供達は一緒に絵を描いたり、毎朝部屋に起こしに行ったりと徐々に関係を深めていきました。
ファミリーデイにはお台場や温泉に出かけて沢山の思い出ができた2週間でした。会話や食事の用意に悩む事もありました、最終日別れ際のデステイニーの
柳内 静香

ホストファミリーの
やりがいを感じた
2週間でした

高崎市役所を訪問

- ① 初級と入門の各2クラス。
 - ② 定員は1クラス25名。
 - ③ 講座は1時間単位で、20回。
 - ④ 資格は、高校生以上・当市在住者及び在勤者。
 - ⑤ 講師はネイティブの先生。
- 詳細は3月の市報、協会HPをご覧ください。(英会話委員会)

英会話講座

令和元年度前期閉講式を9月11日(水)に行い、修了者は58名(受講生87名中)で、皆勤賞は19名に授与されました。また、後期開講式を10月9日(水)に行い、受講生87名です。



高崎市役所前で

9月26日(木)高崎市役所で役員・委員研修会を行いました。高崎市の上原課長によれば、同市は米国ミシガン州のバトルクリーク市との交流が今年で38年に。交流を始めた当初から、毎年4人の高校生と引率者1人がそれぞれお互いの家庭で10日間ずつホームステイし、合計20日間一緒に過ごすという独自の交流を続けています。派遣された高校生はホストファミリーも兼ねるわけです。
今後の派遣・受け入れに関して当協会として大いに参考になる、有意義な研修となりました。

会員募集中!!

東村山市国際友好協会は両市の交流を進めるボランティア団体です。
年会費 一般会員 2,000円、学生会員 1,000円、賛助会員一口 10,000円から

学生派遣団・ホストファミリー

	氏名	ホストファミリー
引率者	高橋 豪	Brown Family
派遣団員	壽 裕美子	Peralta Family
〃	河村 尚美	Sholes Family
〃	尾崎 和真	Moxley Family
〃	渡邊 春灯	Whisenhunt Family
〃	横堀 咲	Swick Family
〃	野澤 美香	Book Family
〃	浅井 鈴佳	Demeyer Family
〃	白井 祐佳	Newberry/Schmidt Family
〃	金田 紅音	Khant Family
〃	柴原 里菜	Saulsbury/Jones Family



ウェルカムパーティーでの派遣生

第35回 学生派遣団

初めて会ったのにフレンドリー!

第35回学生派遣団は8月3日～18日までインディペンデンス市を訪問し、2週間のホームステイを通してホストファミリーとの絆を結びアメリカならではの体験を楽しみました。



国連平和広場でイ市の人々と



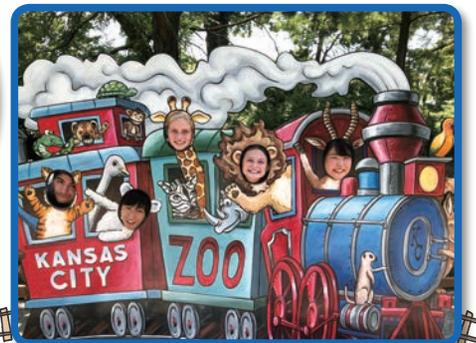
ホストの持ち寄りの料理を楽しみました



アメリカの朝食作りを体験



消防署で放水始め!



カンザスシティの動物園でイ市学生と!

第35回学生派遣団 インディペンデンス市日程 (8月3日～18日)

日	行事
3日 土	羽田出発・イ市到着
4日 日	ウェルカムパーティー
5日 月	インディペンデンスの歴史の日
6日 火	ワールド オブ ファン体験
7日 水	カンザスシティ中央駅・サイエンスシティ
8日 木	消防署・シニアセンター
9日 金	ピクチャーデイ テレビ局見学・ネルソン美術館
10日 土	乗馬体験・ファミリーデイ
11日 日	ファミリーデイ
12日 月	動物園の日
13日 火	ショッピングデイ
14日 水	クッキング教室・ペインティング教室 市長主催晩餐会
15日 木	カンザスシティの日
16日 金	スクールデイ トルーマン高校 ・グレンデール小学校訪問
17日 土	イ市を出発
18日 日	羽田帰着・東村山市民センター着

学生と共に過ごした インディペンデンス市で の貴重な体験

派遣団引率者 高橋 豪

私にとって、もっとも印象に残ったのは、8月6日にイ市のテンプルを訪問できたことです。この日は、広島市に原子爆弾が



幌馬車に乗って 筆者右端

落とされた日です。この日にアメリカの歴史に触れることができたこと、私にとってとても大切な経験でした。そのテンプルの前に建てられた「サダコの像」に、日本とアメリカの若者が集うことができたこと、そして、その前で一緒に記念写真を撮ることができたのです。約200年前、日本人は桜の木をアメリカにプレゼントしました。そのお返しにアメリカからハナミズキの木が贈られました。第2次世界大戦が始まって、日本人はもらったハナミズキの木を全て切ってしまいました。しかし、アメリカ人は、大切に桜の木を守りました。これこそがアメリカの精神だと思

初めてのホームステイで 沢山の感激を体験 帰国報告会

第35回学生派遣団の帰国報告会が8月30日(金)市民センターで行われました。ご来賓の渡部市長他、関係者多数のご出席を頂き、派遣団員は緊張気味ながらも楽しそうに報告をしました。派遣団員たちはホームステイを通じて家族の在り方、コミュニケーションの取り方、自分の考えをはっきりと述べることを、英語の大切さなど沢山のことを学びました。今回の派遣団の成功は、多くの方の協力があった実現できたのだと思います。折笠会長は総評で「水を飲むとき井戸を掘った人のことを忘れないで下さい。」と挨拶しました。

◆市民産業まつり

11月9日(土)・10日(日)の産業まつりに当協会も出店し焼そばが大好評でした。

◆クリスマスパーティー

会員対象のイベントです。(当日入会者も可) 12月14日(土)午後2時よりサンバルネで開催します。オペラ歌手コンサート・ビンゴゲーム等。(入場無料)

◆スピーチ大会

来年2月に各国語学習者によるスピーチ大会が中央公民館で開催されます。当協会からも英会話講座受講生が参加します。

編集後記

今号は第35回イ市派遣学生の引率者のコメントやホストファミリーが感じた「やりがい」などを掲載しました。また、楽しそうな派遣学生の写真も沢山載せてあります。ぜひ皆さんも会員になって一緒に活動しませんか。

人と人
発行：東村山市国際友好協会
編集：広報委員会
東村山市本町 1-2-3
東村山市役所内
☎393-5111 内線2552・2553
http://www.h-ifa.com/